

文部科学省 理数学生育成支援事業

独創的発想に富む科学者育成プログラム～出る杭を伸ばすヘリックスプロジェクト～

(実施期間：平成23年度採択～平成26年度)

理数学生育成支援事業について

文部科学省では、平成19年度から「理数学生応援プロジェクト」を開始し、教育プログラムの開発・実践など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力を更に伸ばすための取り組みの開発を行ってきました。

本事業では、意欲ある学生を更に伸ばす取り組みを各大学に普及するため、体系的な教育プログラムを提供し、将来の科学技術を担う人材を育成することを目指す大学の取り組みを支援します。

独創的発想に富む科学者育成プログラム

～出る杭を伸ばすヘリックスプロジェクト～とは？

本プログラムは、物理、化学、生物、地学、数学(情報)に関して優れた能力・意欲を持つ学生をAO及び一般入試から選抜し、大学1年次から特別のカリキュラム・セミナー・早期研究室配属等の機会を体系的に提供することで国際的に活躍できる独創性に富んだ研究者の育成を目指します。特別教育カリキュラムとして、通常のカリキュラムのほかにアドバンストコースを設置しています。

なお、プログラムの対象となる学科は、地球資源学科、環境応用化学科、生命化学科、情報工学科、機械工学科、電気電子工学科の6学科です。

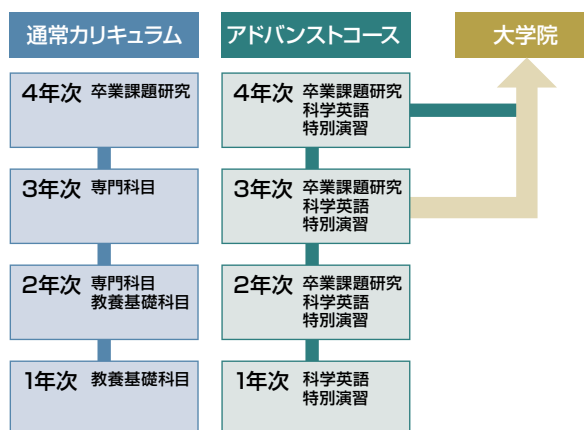


ドイツのフライベルク工科大学を訪問(平成25年3月)

アドバンストコースの概要

アドバンストコースの学生は、通常のカリキュラムのほかに、

- 1年次よりネイティブ英語教員による科学英語の授業を必修とし、主としてヒアリングと会話を中心とした英語のプレゼンテーション能力を修得させます。また、1年次より海外の大学を視察するとともに、国際研究環境を体得させます。
- 2年次より研究室に配属させるとともに、授業の空き時間を利用し、外国文献講読と実験技術を習得させます。
- 年2回(夏季休業及び冬季休業前)の学科を越えた英語による公開研究発表会を必修としています。
- 3年次より、大学院授業科目を受講可能とします。
- 2年次より国内の学会・研究会に参加するとともに、3年次と4年次の優秀な学生には、国際研究集会に参加・発表させます。
- 3年次までの研究を通じて、学業成績が優秀で、かつ国際学術誌に投稿できる内容の研究を行った学生には、英語論文を作成させ投稿させるとともに、早期卒業制度を利用し、3年次終了時点で大学院入学を認めます。



科学英語の講義の様相